

令和元年度(第74回)文化庁芸術祭協賛  
国立劇場11月雅楽公演

海を渡って日本へ 雅楽の様々な演奏形式

唐楽

平調音取 / 萬歳楽 / 陪臚

高麗楽

高麗小乱声 / 小音取 / 八仙破・急

催馬楽

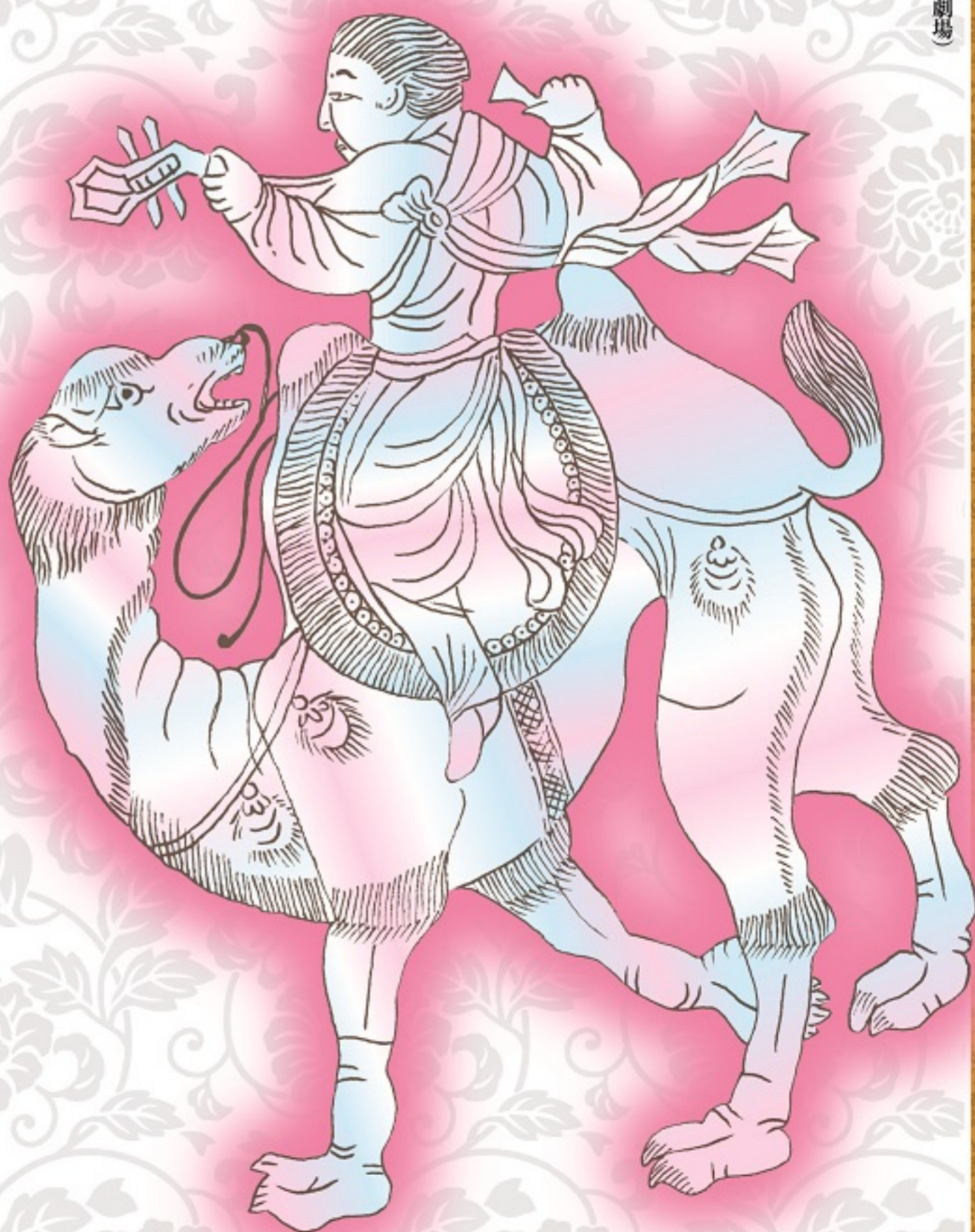
双調音取 / 席田

# 雅楽

## アジアの響き



令和元年  
11月9日【土】  
午後2時開演



お話と実演

雅楽から知るアジアとのつながり

解説 宮丸直子 (伶楽舎)  
三田覚之 (東京国立博物館研究員) ほか

シルクロードから日本へ 正倉院復元楽器の音楽

番假崇

曹娘禪脱

角調調子 序 破 禪脱 颯踏

出演 伶楽舎

入場料金 (税込・全席指定) 4,400円 / 学生3,100円

※10月1日以降、消費税率改定の場合 4,500円 / 学生3,200円

東京・半蔵門  
国立劇場 小劇場  
東京都千代田区年町4-1  
電話 03-3265-7411 (代表)  
https://www.ntj.jac.go.jp/

※障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。【字幕表示あり】

※出演者などの変更の場合はご了承ください。  
予約開始=9月11日(水) 午前10時~ 【電話】国立劇場チケットセンター (午前10時~午後6時)  
0570-07-9900 03-3230-3000 窓口販売開始=9月12日(木) (チケット売場 午前10時~午後6時)  
(一部IP電話等) ※窓口販売用には別枠でのお取り置きはございません。

【インターネット】 国立劇場チケットセンター 検索

National Theatre, Tokyo Presents "Gagaku: Resonance in Asia" November 9, 2019  
Booking Opens September 11 Box Office 0570-07-9900 (10:00-18:00) https://ticket.ntj.jac.go.jp/top\_e.htm



2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

# 雅楽

## アジアの響き

雅楽は、平安時代に大成し、千年の永きにわたり受け継がれてきた日本の伝統芸能です。その源流をたどれば、海外から伝来した楽舞が日本古来の歌舞と結び付いて生まれたものと言われています。

本公演では、様々な演奏形式と、伝来した当初の姿を伝える正倉院復元楽器の紹介を通し、日本とアジアの音楽文化の結び付きをお伝えします。

さらに今回は【お話と実演】の時間を設け、雅楽を入り口に日本とアジアの文化のつながりをご紹介します。正倉院の楽器の魅力や、海外からやってきた楽舞が受容された過程など、ソフトとハードの両面から国際色豊かな雅楽に迫ります。

日本古来の美意識に、海を渡ってやってきた新しい文化の風を取り入れて生まれた音楽にどうぞ期待ください。



海を渡って日本へ 雅楽の様々な演奏形式

唐楽 平調音取 / 萬歳楽 / 陪臚  
高麗楽 高麗小乱声 / 小音取 / 八仙破・急  
催馬楽 双調音取 / 席田

唐楽・高麗楽・催馬楽といった、そのルーツによって異なる形式化がなされた雅楽をご紹介します。唐楽は中国から、高麗楽は朝鮮半島から伝来した楽が分類化されたものです。催馬楽は、日本古来の民謡と唐楽が結び付いて生まれたもので、まさに日本と海外の楽が融合した演奏形式といえます。使用される楽器も異なる3つの演奏形式の違いを聞き比べてみてください。

### お話と実演

### 雅楽から知るアジアとのつながり

解説 宮丸直子 (伶楽舎)

三田覚之 (東京国立博物館研究員) ほか

シルクロードから日本へ 正倉院復元楽器の音楽

### 番假崇

復曲 芝祐靖

### 曹娘禪脱

角調調子 序 破 禪脱 颯踏

復元された正倉院の楽器による音楽をご紹介します。「シルクロードの終着点」とも言われる正倉院には、楽舞とともに海外から伝来した後、日本化される過程で使われなくなった楽器が数多く残存しています。国立劇場は、一九七〇年代からこうした楽器の復元と、その楽器を使用した楽曲の上演に取り組んできました。今回の公演では、その中から楽器復元や復曲に多大な功績を遺した芝祐靖氏による復曲作品を上演いたします。異国の雰囲気の色濃く感じさせる音色をお楽しみください。



©伶楽舎

### 出演 伶楽舎

雅楽の合奏研究を目的に昭和六十年に発足した雅楽演奏グループ。発足以来、現行の雅楽古典曲に加え、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏にも積極的に取り組む、国内外で幅広い活動を展開している。



正倉院復元楽器 五絃琵琶



正倉院復元楽器 篋篋

令和元年 11月9日【土】 午後2時開演 (午後4時20分終演予定)  
入場料金 (税込・全席指定) 4,400円 / 学生3,100円  
※10月11日以降、消費税率改定の場合 4,500円 / 学生3,200円

※障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。  
※出演者などの変更の場合はご了承ください。

東京・半蔵門 国立劇場 小劇場  
東京都千代田区幸町4-1  
電話 03-3265-7411 (代表)  
https://www.ntj.jac.go.jp/

予約開始 = 9月11日(水) 午前10時～  
【電話】 国立劇場チケットセンター (午前10時～午後6時) 【インターネット】 国立劇場チケットセンター 検索

0570-07-9900 03-3230-3000 (一部IP電話等)  
窓口販売開始 = 9月12日(木) (チケット売場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。  
プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 https://t.pia.jp/ e+(イープラス) https://eplus.jp/

国立劇場託児室  
この公演は託児室をご利用いただけます。ご利用には事前の予約が必要です。(定員になり次第、締め切らせていただきます。)  
ご予約・お問い合わせ: イベント託児・マザーズ 0120-788-222 http://www.mothers-inc.co.jp/  
【受付時間】 平日午前10時～12時、午後1時～5時 料金: [0歳～1歳] 2,000円 / [2歳～12歳] 1,000円

●地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)1番出口徒歩5分  
有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分  
●劇場バス 終演時に運行(東京行き・新宿行き)(有料)  
●駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。  
●都バス 都03(精海埠頭-銀座四丁目-四谷駅)三宅坂徒歩1分(本数僅少)  
宿75(新宿駅西口-河田町-四谷駅前-三宅坂)三宅坂徒歩1分(本数僅少)